

## 中国配車アプリ DiDi 大阪進出

国慶節直前 9月27日サービス開始

中国の配車アプリ DiDi が、大阪でタクシー予約サービスを開始します。中国では、乗客の安全が確保されていないとして炎上、集中砲火をあびているさなかですが、新市場開拓に今年の国慶節休暇で中国人観光客人気 1 位と言われていた日本を選択。関西国際空港をはじめとする周辺地域を含めると、900 万人近い人口を抱える大阪で、地元のタクシー会社 10 社でサービスを開始します。DiDiJapan は AI 技術で配車とタクシー車両の管理の効率化をはかるとのこと。ソフトバンクからの出資、提携で日本市場に参入した同社は近い将来、京都、福岡、東京などへサービスを拡張する計画です。個人間のライドシェアは日本では禁止されているため、DiDiJapan はタクシー配車サービスだけに限るとしています。日本の既存タクシー産業は、売上高 130 億ドル(1 兆 4800 億円)、世界第 3 位のタクシー市場で、およそ 240,000 台のタクシー車両を有しています。

中国を訪れる旅行者へアピールするため、日本国内でも自国で使っている DiDi アプリをそのまま使用できる「ローミングパスポート」サービスを新たにローンチしています。この機能は中国以外の香港、台湾、オーストラリア、メキシコなどの DiDi アプリのユーザーも使用できます。(参照※1)



出典元:TechCrunch



出典元:TechCrunch

※1 配車アプリ DiDi 日本進出 | TechCrunch

<https://techcrunch.com/2018/09/26/didi-japan/>